音別町農耕地土壌図（1／5万）

（地力保全基本調査、白糠地域）

北 海 道 釧 路 支 庁
北海道立中央農業試験場

（平成13年3月）

本調査報告書は、農水省北海道農業試験場発行の「土壌調査報告書」（第28編、1983）を参考にして、地力保全基本調査様式に準じて編集・発行したものです。ただし、面積については、昭和60～61年版の市町村別農業統計に町単位で合致させてあります。

（編集担当）北海道立中央農業試験場
農業環境部　環境保全科

―目　次―

土壌区一覧表 …… 1
各土壌区の代表的断面形態、分析値および解説
大秋統―大秋区 …… 2
中音別統―中音別区 …… 3
音別湿地統―音別湿地区 …… 4
古丹の沢統―古丹の沢区 …… 5
本流統―本流区 …… 6
五区統―五区区 …… 7
川向統―川向区 …… 8
音別川統―音別川区 …… 9
霧里統―霧里区 …… 10
本流湿地統―本流湿地区 …… 11
尺別統―尺別区 …… 12
音別統―音別区 …… 13
四区統―四区区 …… 14
直別統―直別区 …… 15
(付表1) 生産力可能性分級基準 …… 16
(付表2) 土壌分類の一覧 …… 18
(付表3) 断面柱状図の記号の説明 …… 20
(付表4) 要土地改良、土層改良土壌一覧 …… 21

音別町土壌区一覧表

設色	土壌統名	土壌区名	地図上の記号	簡略分級式	面積(ha)	色層序	腐植層序	礫層及び砂礫層	酸化沈積物	土性 表層	土性 次層	泥炭	黒泥	グライ層	推積様式	母材	土壌分類コード 全国土壌統	土壌分類コード 北海道分類	代表地点No
	大秋	大秋	O-III	III n II se	603	YR/YR	表層腐植層	56cm以下混在	なし	壌質	壌質	なし	なし	なし	風積(火山灰)/洪積	非固結火成岩/非固結水成岩	03E48	2351	128
	中音別	中音別	N-III	III w II tnase	33	YR/YR	表層多腐植層	30cm以下混在	38cm以下	壌質	粘質	なし	なし	なし	風積(火山灰)/洪積	非固結火成岩/非固結水成岩	03E60	2541	147
	音別湿地	音別湿地	Os-III	III wn II a	39	YR/YR	表層多腐植層	なし	なし	壌質	泥炭	40cm以下	12～28cm 34～40cm	40cm以下	風積(火山灰)/集積	非固結火成岩/ヨシ、主体	04D35	2551	46
	古丹の沢	古丹の沢	Kt-III	III w II fnas	52	YR/YR	表層多腐植層	なし	なし	壌質	壌質	なし	28～45cm	なし	風積(火山灰)/洪積	非固結火成岩/非固結水成岩	04D28	2722	13
	本流	本流	H-II	II a	359	YR/YR	表層腐植層	30～52cm砂	なし	壌質	壌質	なし	なし	なし	水積(河成)	非固結水成岩	12B03	7113	110
	五区	五区	g-II	II da	53	YR/YR	表層腐植層	80cm以下礫	なし	壌質	礫質	なし	なし	なし	水積(河成)	非固結水成岩	12B03	7112	65
	川向	川向	K-III	III d II ia	190	YR/YR	表層腐植層なし	40cm以下礫	なし	壌質	礫質	なし	なし	なし	水積(河成)	非固結水成岩	12C06	7111	88
	音別川	音別川	Ok-III	III d II tfni	111	YR/YR	表層腐植層	45cm以下礫	なし	壌質	礫質	なし	なし	なし	風積(火山灰)/水積(河成)	非固結火成岩/非固結水成岩	12C06	7131	98
	霧里	霧里	Ks-III	III tdgi II (w)fa	80	YR/YR	表層腐植層	13～30cm混在 40cm以下礫	なし	壌質	礫層	なし	なし	なし	水積(扇状堆土)	非固結水成岩	12C07	7131	74
	本流湿地	本流湿地	Hs-III	III wn II tf	26	YR/YR	表層腐植層	65cm以下砂	30cm以下	壌質	砂質	なし	なし	なし	水積(河成)	非固結水成岩	13E17	7213	150
	尺別	尺別	S-III	III w II tdpna	130	Y/Y	表層腐植層なし	33～40cm砂 60cm以下礫	15～33cm	粘質	礫質	なし	なし	なし	水積(河成)	非固結水成岩	13C10	7214	124
	音別	音別	On-III	III wn II tpfa	749	YR/Y	全層腐植層	なし	32～47cm	強粘質	泥炭	90cm以下	なし	80cm以下	水積(河成)/集積	非固結水成岩/ヨシ・主体	13G24	7223	41
	四区	四区	y-III	III wn II fi	25	YR/YR	表層多腐植層	なし	なし	壌質	粘質	なし	なし	なし	扇状堆土/水積(河成)	非固結水成岩	13E17	7233	39
	直別	直別	T-IV	IV w III tna II f	300	YR/YR	全層多腐植層	なし	なし	壌質	泥炭	22cm以下	なし	22cm以下	集積	ヨシ、ハンノキ	16A01	8120	10
					(計) 2750														

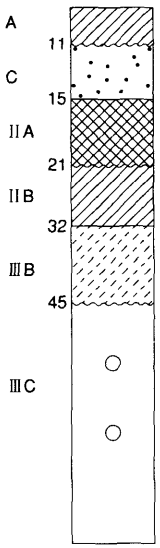
農耕地土壌分類

03E 淡色黒ボク土
04D 表層腐植質多湿黒ボク土
12B 中粗粒褐色低地土、斑紋なし
12C 礫質褐色低地土、斑紋なし
13C 礫質灰色低地土、灰色系
13E 中粗粒灰色低地土、灰褐系
13G 灰色低地土、下層黒ボク
16A 泥炭土

北海道分類

2351 下層台地軽しょう褐色火山性土
2541 下層台地軽しょう湿性黒色火山性土
2551 下層低地軽しょう湿性黒色火山性土
2722 下層台地湿性厚層黒色火山性土
7111 褐色低地土（礫質）
7112 褐色低地土（粗粒質）
7113 褐色低地土（中粒質）
7131 火山灰表層褐色低地土（礫質）
7213 灰色低地土（中粒質）
7214 灰色低地土（細粒質）
7223 暗色表層灰色低地土（中粒質）
7233 火山灰表層灰色低地土（中粒質）
8120 無機質表層低位泥炭土

大秋（0）
（128）



黒褐（10YR3/2）h̊L、粉塊状、L、一、多、中、一、良、一多、一
灰白（10YR8/1）S、単粒状、L、一、多、欠、一、一、良、一、少、一 } Me-a

黒（10YR1.7/1）h̄CL、粗豆状、L、一、多、中大、一、一、良、一、多、一
にぶい黄褐（10YR5/3）h̊CL、小円塊状、L、一、中、中大、一、一、良、一、多、一 } 矢臼別

浅黄橙（10YR8/4）h̆L、小円塊状、L、一、中、中大、一、一、良、一、中、一

浅黄（2.5Y7/3）L、小円塊状、L、一、中、大、一、一、やや不良、一、少、一

} 洪積層土壌

図幅名音別	
市町村名	音別町尺別
北海道土壌統名	大秋（0－Ⅲ）
北海道第２次案	（2351）下層台地軽しょう褐色火山性土
分布面積	603ha
全国土壌統名	仙田統（03E48）
土壌群、統群	淡色黒ボク土
簡略分級式	ⅢnⅡse

〈特徴〉
草地　標高20～88m
S 4 ～12°
丘陵性段丘（波状性）
火山灰／洪積
（音別町町営牧場）

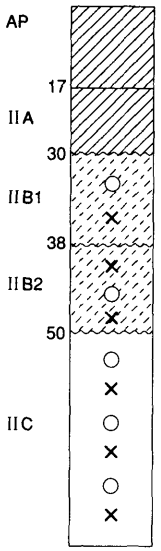
示性分級式（畑）大秋区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ	有効土層の深さ	表土の礫含量	耕土の難易	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿	透水性	保水力	湿潤度	自然肥沃度	保肥力	固定力	養分の豊否	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃苦土	〃加里	有効態燐酸	〃	微量要素	酸度	障害	有害物質の有無	災害	物理的障害性	増冠水の危険度	傾斜	地すべりの危険度	自然傾斜	傾斜の方向	侵蝕	人偽傾斜	侵蝕度	耐水侵蝕性	耐風侵蝕性
	t	d	g	p	1	2	1	2	1	1	f	1	2	2	n	1	3	1	2	—	1		i	—	1	a	1	1	s	1	2	—	—	e	2	2	1
Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1	2	1	Ⅰ	2	1	1	Ⅰ	1	2	Ⅲ	1	3	1	2	—	1	Ⅰ		—	1	Ⅰ	1	1	Ⅱ	2	—	—	Ⅱ	2	2	1

簡略分級式　ⅢnⅡse

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～15	A C	3.9	8.81	0.39	5.12	13	26.5	LS	8.1	46.1	36.1	9.7	L	2.3	34.5	55.6	9.9		6.0	5.6	0.3	1,336	25.43	18.58	73	17.68	0.42	0.34	0.14	5.5	136
2	15～21	IIA	7.7	18.95	0.68	11.01	16	42.8	CL	4.1	34.1	31.0	30.8		2.4	33.0	57.9	9.1		5.2	4.3	5.8	2,325	59.39	18.84	32	16.14	2.10	0.43	0.17	1.4	136
3	21～32	IIB	6.4	6.78	0.23	3.94	17	38.4	CL	4.9	43.9	34.4	16.8		2.6	29.7	56.2	14.1		5.1	4.2	10.4	2,051	29.60	4.95	17	3.79	0.42	0.52	0.22	0.3	133
4	32～45	IIIB	5.1	3.24	0.12	1.88	16	34.3	L	4.0	49.1	33.4	13.5		2.8	32.3	47.9	19.8		5.2	4.3	12.0	1,646	23.27	3.46	15	2.81	0.35	0.13	0.17	0.6	138
5	45～	IIIC	4.1	0.66	0.040	0.38	10	34.1	L	2.3	53.8	27.0	16.9		2.9	44.7	45.9	9.4		4.9	3.9	17.5	1,138	19.20	9.87	51	6.32	3.16	0.17	0.22	3.1	175

中音別（N）
（147）



黒褐（10YR3/3）h̊L、粉塊、L（16）、フ、多、中、一、一、良、湿、多、一 } Me-a 矢臼別 新規火山灰

黒（10YR1.7/1）h̄C、粉塊、L（17）、フ、多、中、一、一、良、湿、中、一

黒褐（10YR3/2）h̆gCL、粉塊、L（20）、フ、多、強、一、一、やや良、湿、少、泥岩1～3cm } ローム層

にぶい黄橙（10YR6/4）h̊gCL、大円塊、C（25）、フ、多、強、一、一、やや良、湿、少、鉄斑、7.5YR7/6

にぶい黄橙（10YR7/3）g̊CL、大円塊、C（27）、フ、多、強一、一、やや不良、湿、一、泥岩1～3cm、安山岩5cm } 洪積

図幅名音別	
市町村名	音別町直別
北海道土壌統名	中音別（N－Ⅲ）
北海道第２次案	（2541）下層台地軽しょう湿性黒色火山性土
分布面積	33ha
全国土壌統名	袋倉統（03E60）
土壌群、統群	淡色黒ボク土
簡略分級式	Ⅲ w Ⅱ tnase

〈特徴〉
キナシ別、風蓮別川左岸の標高20～60m　火山灰／洪積
S　4～6°
緩波状性段丘
火山灰層は薄い、下層（30cm）から粘質で堅密な洪積土があらわれる。
50cm以下は堅密（27）で透水不良。
0～17　新規火山灰

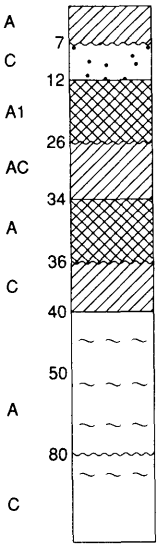
示性分級式（畑）中音別区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕土の難易度 p	表土の土性	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿 w	土透水性	土保水性	自然湿潤度 f	自然肥沃度	自保肥力	自固定力	養土層の塩基状態	養分の豊否 n	養置換性石灰含量	養〃苦土〃	養〃加里〃	養有効態燐酸〃	障微量要素	障酸度	障害 i	災物理的障害性	災有害物質の有無	災増冠水の危険度	災害性 a	傾地すべりの危険度	傾斜の方向	傾自然傾斜 s	侵人為傾斜	侵蝕 e	侵耐水蝕性	侵耐風蝕性
Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1	2	1	Ⅲ	2	1	2	Ⅰ	1	2	1	Ⅱ	1	1	2	2	—	2	Ⅰ	—	1	Ⅱ	2	1	Ⅱ	2	—	—	Ⅱ	2	2	1

簡略分級式　Ⅲ w Ⅱ tnase

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～17	AP	3.4	9.46	0.44	5.5	12	27.3	L	9.9	43.9	33.6	12.6	L	2.5	30.2	66.4	3.4		5.6	4.8	0.8	1,316	21.89	11.42	52	8.95	2.10	0.16	0.21	2.6	141
2	17～30	IIA	7.8	19.03	0.72	11.06	15	51.8	C	5.0	23.4	31.8	39.8		2.4	25.2	62.7	12.1		5.6	4.6	0.5	2,286	65.04	30.56	47	26.94	2.95	0.37	0.30	2.6	124
3	30～38	IIB1	4.0	3.78	0.16	2.19	14	45.5	CL	7.1	35.0	31.9	26.0		2.7	32.7	51.1	16.3		5.9	4.7	0.8	1,276	29.18	16.22	55	12.63	2.95	0.46	0.18	2.6	140
4	38～50	IIB2	4.0	1.09	0.070	0.63	9	37.4	CL	8.9	41.1	32.3	17.7		2.9	41.9	47.2	10.9		6.1	4.7	0.9	1,144	21.68	15.03	69	11.79	2.53	0.48	0.23	3.1	167
5	50～	IIC	3.9	0.55	0.047	0.319	7	4.67	CL	5.4	35.2	37.3	22.1		2.8	47.8	48.2	3.0		6.2	4.6	0.9	1,154	20.84	18.50	89	12.63	5.05	0.55	0.27	1.1	183

音別湿地（Os）
（46）



灰黄褐（10YR4/2）hSL、板状、L、フ、多、少、少、少、良、一、多、一、灰白（10YR8/1）S、単粒、L、フ、多、少、少、少、良、一、少、一 } Me-a Ta-b 1cm挟在

黒（10YR1.7/1）H、粗豆状、L、フ、多、中、中、中、良、湿、多、一 にぶい黄橙（10YR6/3）hC、大粉塊、L、フ、多、中、中、中、良、湿、中、一 } 矢臼別

黒（10YR1.7/1）H、単一、L、一、少、中、中、中、やや不良、湿、少、一 にぶい黄橙（10YR4/3）hCL、単、一、L、一、少、中、中、中、やや不良、湿、少、一

黒（10YR2/1）ヨシ、一、一、分解、やや不良、一、一、一、一、潤、一、一

黒褐（10YR2/3）ヨシ、一、一、分解、やや良好、一、一、一、一、潤、一、一 } 地下水位 50−60

図幅名 音別

市町村名 音別町中音別

北海道土壌統名 音別湿地（Os−Ⅲ）

北海道第2次案 (2551) 下層泥炭軽しょう湿性黒色火山性土

分布面積 39ha

全国土壌統名 大田和（04D35）

土壌群、統群 表層腐植質多湿黒ボク土

簡略分級式 Ⅲ wn Ⅱ a

〈特徴〉
傾斜2～3°、低地　火山灰／沖積土
音別町中音別の低湿地（地下水位50～60cm）
おおむね40cm前後から泥炭層
強酸性（pH4.4～5.2）を呈する塩基不飽和（20～30%）の土壌

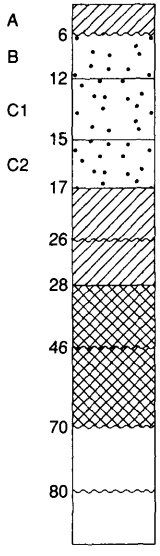
示性分級式（畑）音別湿地区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕土の粘土の難易 p	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿 w	透水性	保水性	自然湿潤度	肥沃度 f	保肥力	固定力	養分の豊否 n	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	有効態燐酸	〃	微量要素	酸度	障害 i	有害物質の有無	災害 a	物理的障害性	増冠水の危険度	傾斜 s	地すべりの危険度	自然傾斜	侵蝕 e	人偽傾斜	侵蝕度	耐風蝕性	耐水蝕性
Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1	(2)	Ⅲ	1	1	2	Ⅰ	2	2	3	Ⅲ	2	3	3	2	—	2	Ⅰ	—	1	Ⅱ	2	1	Ⅰ	1	—	—	Ⅰ	1	3	1

簡略分級式 Ⅲ wn Ⅱ a

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～7 7～12	A C	3.4	5.57	0.28	3.24	12	31.8	SL S	3.3	45.7	40.4	10.6	L	2.3	32.8	58.0	9.2		5.2	4.5	2.5	1,266	15.01	4.42	29	3.79	0.42	0.09	0.12	3.1	134
2	12～26 26～34	A1 AC	8.8	30.89	1.05	17.96	17	51.6	H C	0.1	19.0	37.1	43.8		2.2	20.7	66.4	12.9		4.4	3.8	30.0	2,242	53.78	10.45	19	9.68	0.42	0.13	0.22	4.3	112
3	34～36 36～40	A C	7.7	28.31	1.11	16.46	15	57.4	H CL	1.0	15.8	42.8	40.4		2.2	22.0	58.4	19.6		4.4	3.8	33.6	2,276	54.61	10.14	19	9.26	0.42	0.13	0.33	1.4	106
4	40～80 80～	A C	10.0	58.55	2.05	34.04	17	47.1	ヨシ	1.1	7.1	33.2	58.6		1.6	12.0	77.5	10.5		4.6	4.1	14.0	2,396	79.90	26.48	33	25.26	0.70	0.15	0.37	2.0	97
5																																

古丹の沢（Kt）
（13）



黒（10YR2/1）$\bar{h}$L、大粉塊、L、フ、多、中、ー、ー、良、ー、多、ー
明褐（7.5YR5/6）S、単粒、L、フ、多、弱、ー、ー、良、ー、少、ー
灰白（7.5YR8/2）S、単粒、L、フ、多、弱、ー、ー、良、ー、少、ー
Me-a

にぶい橙（7.5YR9/3）S、単粒、L、フ、多、弱、ー、ー、良、ー、少、ー
Ta-b

黒（7.5YR1.7/1）$\mathring{h}$CL、粉塊、L、フ、多、中、ー、ー、良、湿、中、ー
黒褐（7.5YR2/2）$\mathring{h}$L、粉塊、L、フ、多、中、ー、ー、良、湿、中、ー
矢臼別

黒（7.5YR1.7/1）H、粉塊、L、フ、多、多、ー、ー、良、湿、中、ー
灰褐（7.5YR4/2）$\bar{h}$L、粉塊、L、フ、多、多、ー、ー、良、湿、少、ー、
明黄褐（7.5YR7/6）$\mathring{h}$L、大粉塊、L、フ、中、多、ー、ー、やや良、湿、ー、ー
火山灰質洪積

黄橙（7.5YR8/6）L、大粉塊、ややC、フ、少、多、ー、ー、やや良、潤、ー、ー

図幅名	音別
市町村名	音別町中音別（放牧地）
北海道土壌統名	古丹の沢（Kt－Ⅲ）
北海道第２次案	(2722) 下層台地湿性厚層黒色火山性土
分布面積	52ha
全国土壌統名	上尾統（04D28）
土壌群、統群	表層腐植質多湿黒ボク土
簡略分級式	Ⅲ w Ⅱ fnas

〈特徴〉
標高20～40m　火山灰／洪積土
S　4～6°
緩傾斜台地　十勝坊主の発達が多い（未耕地が多い）
表層の有効態りん酸は多い（3.5～3.9mg）

示性分級式（畑）古丹の沢区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕転の難易度 p	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿性 w	透水性	保水性	自然湿潤度 f	肥沃度	保肥力	固定力	養分の豊否 n	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	有効態燐酸	微量要素	障害 酸度	障害 有害物質の有無 i	災害 物理的障害性 a	災害 増冠水の危険度	傾斜 すべりの危険度 s	傾斜 自然傾斜	傾斜 傾斜の方向	侵蝕 人為傾斜 e	侵蝕 侵蝕度	耐水侵蝕性	耐風侵蝕性
Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	2	2	1	Ⅲ	1	1	2	Ⅱ	1	3	3	Ⅱ	1	1	1	2	―	2	Ⅰ	―	1	Ⅱ	2	1	Ⅱ	2	―	―	1	2	1

簡略分級式　Ⅲ w Ⅱ fnas

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～17	A B C1 C2	4.3	13.71	0.63	7.97	13	27.2	L S	2.4	46.0	35.6	16.0		2.1	19.9	57.0	23.1		5.1	4.4	4.6	1,608	37.52	15.72	42	13.16	1.58	0.65	0.32	3.7	99
2	17～28		1.8	4.57	0.19	2.65	14	28.2	CL L	7.2	45.2	40.1	7.5		2.4	30.6	57.0	12.4		5.6	4.5	3.8	1,132	11.46	3.97	35	3.16	0.53	0.12	0.15	3.4	132
3	28～46		7.8	23.57	0.79	13.70	17	42.7	H L	5.2	27.5	35.3	32.0		2.2	20.0	62.3	17.7		5.5	4.3	8.0	2,541	57.53	12.15	21	8.84	2.53	0.35	0.43	0.6	106
4	46～70		10.1	18.76	0.65	10.90	17	30.5	L	8.1	39.6	37.8	14.5		2.5	18.8	57.6	23.6		5.7	4.5	3.0	2,603	47.53	4.89	10	2.95	1.26	0.30	0.38	1.1	105
5	70～80		6.6	5.86	0.23	3.40	15	36.1	L	6.1	38.1	42.5	13.3		2.9	27.2	59.8	13.0		5.8	4.6	2.0	1,995	29.18	3.85	13	2.10	0.84	0.42	0.49	1.4	138

本流（H）
（110）

A	6	黒褐（10YR2/3）hSL、粉塊、L、フ、多、中、一、一、良、一、多、一
C	30	黄褐（2.5Y5/3）SL、不鮮明粉塊、L、フ、多、中、一、一、良、一中、一 } 火山灰混入
IIC1	52	にぶい黄褐（10YR5/3）S/SL、単粒、L、フ、多、少、一、一、良、一、少、一
C2		灰黄褐（10YR6/2）SL、単粒、L、一、多、少、一、一、良、一、一、一、

図幅名音別

市町村名　音別町

北海道土壌統名　本流（H－II）

北海道第２次案　褐色低地土（7113）

分布面積　359ha

全国土壌統名　芝統（12B03）

土壌群、統群　中粗粒褐色低地土

簡略分級式　IIa

〈特徴〉
音別川、直別川の流域に分布する大部分は草地一部（上流）ヤサイ畑
膨軟な推積の砂壌土の沖積土、透水性良好
塩基は多く（23me）弱酸性・有効りん酸は多い

示性分級式（畑）本流区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕土の難度 p	表土の土性	表土の粘着性	表層の風乾土の硬さ	土地の乾湿 w	透水性	保水性	湿潤度	自然肥沃度 f	保肥力	固定力	土層の塩基状態	養分の豊否 n	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	有効態燐酸	微量要素	障害酸度 i	有害物質の有無	災害 物理的障害性 a	増冠水の危険度	地すべりの危険度	傾斜 自然傾斜 s	人為傾斜の方向	侵蝕 偽傾斜 e	侵蝕度	耐水蝕性	耐風蝕性
II	I	I	I	I	1	1	(2)	I	1	2	1	I	1	2	1	I	1	1	1	1	—	1	I	—	1	II	2	1	I	1	—	—	I	1	2	1

簡略分級式　IIa

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～30	A C	3.1	2.24	0.14	1.30	9	22.9	SL	9.7	57.5	20.5	12.3	SL	2.7	44.3	33.3	22.4		6.2	5.0	0.3	1,192	25.52	22.61	88	19.47	1.58	1.34	0.22	26.0	153
2	30～52	IIC1	3.1	1.38	0.088	0.80	9	19.1	SL	10.1	62.8	16.2	10.9		2.7	47.4	39.0	13.6		6.2	4.8	0.5	1,187	25.00	22.18	89	16.57	4.47	0.95	0.19	22.6	167
3	52～	C2	3.3	1.17	0.078	0.68	9	19.4	SL	8.7	64.7	16.0	10.6		2.8	40.9	35.9	23.2		6.3	4.9	0.4	1,255	26.04	23.73	91	21.11	1.58	0.81	0.22	17.0	150
4																																
5																																

五区（g）
（65）

AP	0～20	黒褐（10YR2/3）hL、粉塊、L、フ、多、中、一、一、良、一、多、一
B	20～42	にぶい黄褐（10YR5/4）SL、不鮮明粉塊、L、フ、多、中、一、一、良、一、中、一
IIC	42～75	にぶい黄褐（10YR5/4）SL、単粒、L、一、多、中、一、一、良、一、少、一
IIIC	75～80	にぶい黄橙（10YR6/3）SL、単粒、L、管（2mm）?、少、欠、一、一、良、一、一、一
		○○○　一（一）G、一、L、?、一、欠、一、一、一、一、一、一（泥炭岩 3～6cm）

図幅名	音別
市町村名	音別町五区草地
北海道土壌統名	五区（g－II）
北海道第2次案	褐色低地土（中粗粒）（7112）
分布面積	53ha
全国土壌統名	芝統（12B03）
土壌群、統群	中粗粒褐色低地土
簡略分級式	II da

〈特徴〉
（沼田誠悦宅）
音別川の中・下流に分布する。
下層が粗粒質となる沖積土
推積膨軟構造の発達が著しい。
透水性極めて良好、酸性は微弱
塩基飽和度も高い（78～88%）

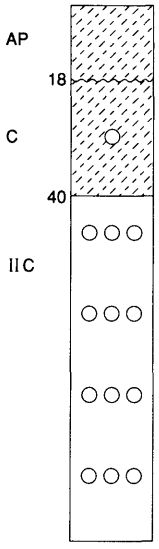
示性分級式（畑）五区区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ	有効土層の深さ	表土の含礫量	耕土の難易度	表土の粘着性	表土の硬度	土の乾湿性	地の乾湿性	透水性	保水性	自然湿潤度	自然肥沃度	保肥力	固定力	養分の豊否	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃苦土含量	〃加里含量	〃有効態燐酸含量	微量要素	障害酸度	有害物質の有無	災害物理的障害性	増水の危険度	地すべりの危険度	傾斜自然傾斜	傾斜の方向	侵食人為傾斜	侵食度	耐水侵食性	耐風侵食性
	t	d	g	p				w				f				n							i		a		s			e		
II	I	II	I	I	2	2	1	I	1	2	1	I	1	2	1	I	1	1	1	1	—	1	I	—	II	2	1	I	1	—	—	I	1	2	1

簡略分級式　II da

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～20	AP	3.3	5.84	0.37	3.40	9	33.1	L	2.3	47.2	34.1	16.4		2.6	37.6	58.5	4.9		6.1	5.1	0.3	1,127	27.51	24.28	88	21.47	1.68	0.95	0.18	14.8	156
2	20～75	B IIC	3.4	1.40	0.092	0.81	9	24.6	SL	0.2	66.1	20.1	13.6		2.8	43.9	17.5	38.9		6.2	4.5	0.5	1,214	27.09	23.74	88	19.30	3.16	0.98	0.29	14.5	139
3	75～80	IIIC	3.0	0.83	0.060	0.48	8	16.7	SLG	3.5	74.3	13.4	8.8		2.8	41.0	46.5	12.5		5.9	4.5	1.8	1,176	23.96	18.75	78	16.05	1.05	1.45	0.20	16.3	163
4																																
5																																

川向（K）
（88）



にぶい黄褐（10YR4/3）ȟL、大粉塊、L、フ、多、中、ー、ー、良、ー、多、ー

にぶい黄褐（10YR5/4）ȟǧL、単粒、L、フ、多、少、ー、ー、良、ー、少、ー

ー（ー）G、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー（5～10cm 泥岩）安山岩

図幅名音別	
市町村名	音別町二股川向草地
北海道土壌統名	川向（K－Ⅲ）
北海道第２次案	褐色低地土（7111）
分布面積	190ha
全国土壌統名	二条統（12C06）
土壌群、統群	礫質褐色低地土
簡略分級式	ⅢdⅡia

〈特徴〉
音別川、霧里川流域に分布している
畑、草地の利用。
40cm前後からレキ層となる
作土はやや酸性化（pH5.7）しているが下層まで塩基に飽和され（80～90%）
有効態りん酸も甚だ多い（30mg）

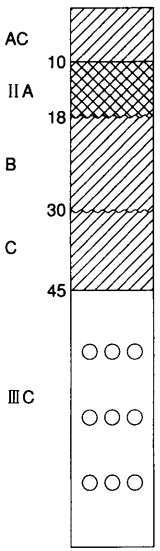
示性分級式（畑）川向区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕土の難易度 p	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿 w	透水性	保水性	湿潤度	自然肥沃度 f	保肥力	固定力	土層の塩基状態	養分の豊否 n	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	〃 有効態燐酸	〃 微量要素	酸度	障害性 i	有害物質の有無	物理的障害性	災害性 a	増冠水の危険度	地すべりの危険度	傾斜 s	自然傾斜	傾斜の方向	人偽傾斜	侵蝕 e	侵蝕度	耐水性	耐風蝕性
Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	2	2	Ⅰ	1	2	1	Ⅰ	1	2	1	Ⅰ	1	1	1	1	1	2	Ⅱ	—	2	Ⅱ	2	1	Ⅰ	1	—	—	Ⅰ	1	2	1

簡略分級式　ⅢdⅡia

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～18	AP	3.4	3.40	0.22	1.98	9	29.5	L	3.7	56.5	22.0	17.8	CL	2.8	44.7	32.9	22.4		5.7	4.6	1.0	1,182	30.21	23.87	79	19.73	2.10	1.82	0.21	30.2	159
2	18～40	C IIC	3.3	3.15	0.20	1.83	9	30.0	LG	12.6	46.2	23.6	17.6		2.7	47.5	17.2	35.3		5.9	4.9	0.8	1,171	29.17	25.92	89	21.57	2.37	1.77	0.20	29.7	144
3																																	
4																																	
5																																	

音別川（OK）
（98）



暗褐（10YR3/3）$\mathring{h}$L、粉塊、L、フ、多、中、ー、ー、良、ー、多、ー } Me-a

黒褐（10YR2/2）$\bar{h}$CL、粗豆状、粉塊状、L、フ、多、中、ー、ー、良、ー、中、ー

にぶい黄褐（10YR4/3）$\mathring{h}$L、粗豆状、粉塊状、L、フ、多、中、ー、ー、良、ー、少、ー

明黄褐（10YR6/6）$\mathring{h}$L、大粉塊、L、フ、多、中、ー、ー、良、ー、少、ー

ー（ー）G、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー } （安山岩 3～6cm）（泥岩 2～4cm）

図幅名	音別
市町村名	音別町
北海道土壌統名	音別川（Ok－Ⅲ）
北海道第２次案	火山灰表層褐色低地土（7131）
分布面積	111ha
全国土壌統名	二条統（12C06）
土壌群、統群	礫質褐色低地土
簡略分級式	ⅢdⅡtfni

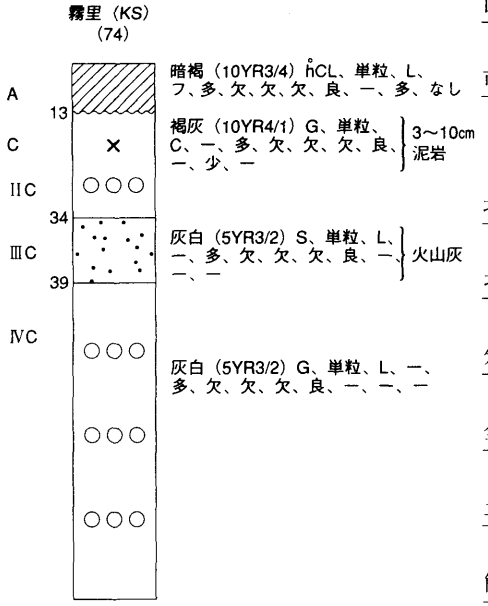
〈特徴〉
低地　火山灰／沖積土
音別川及びその支流に分布する壌土型の沖積土
表層は火山灰におおわれ腐植の集積が多い。
45cm前後から礫層があらわれる。

示性分級式（畑）音別川区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ	有効土層の深さ	耕土の礫含量	耕土の難易度	表土の土性	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿性	透水性	保水性	湿潤度	自然肥沃度	保肥力	固定力	養分の豊否	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	有効態燐酸	〃	微量要素	酸度	障害	有害物質の有無	物理的障害性	災害	増冠水の危険度	地すべりの危険度	傾斜	自然傾斜	傾斜の方向	人偽傾斜	侵蝕	侵蝕度	耐水侵蝕性	耐風蝕性
t	d	g	p	2	2	1	I	1	1	1	II	f	1	3	2	II	n	1	1	2	2	—	2	II	i	—	2	I	a	1	1	I	s	1	—	—	I	e	1	2	1
III	II	III	I	I																																	

簡略分級式　ⅢdⅡtfni

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N 比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～10	AC	4.0	9.84	0.45	5.72	13	32.4	L	4.7	41.5	37.9	15.9	CL	2.3	33.7	55.4	10.9		5.4	4.6	2.0	1,553	21.89	8.25	38	6.32	1.58	0.16	0.19	2.6	134
2	10～18	IIA	6.0	11.07	0.54	6.43	12	39.3	CL	5.8	34.3	44.9	15.0		2.4	6.9	84.6	8.5		6.0	5.2	0.3	2,276	29.18	13.79	47	12.63	0.84	0.18	0.14	0.8	101
3	18～30	B	7.3	9.31	0.49	5.41	11	33.1	L	6.4	37.1	47.9	8.6		2.5	23.8	47.8	28.4		6.2	5.5	0.3	2,471	24.31	10.78	44	9.47	1.05	0.13	0.12	0.8	107
4	30～	C IIIC	8.0	6.81	0.36		11	33.4	L	12.2	34.5	43.1	10.2		2.8	21.4	49.2	29.4		6.2	5.4	0.4	2,605	24.48	7.49	30	6.67	0.35	0.32	0.14	0.6	110
5																																



図幅名音別	
市町村名	音別町
北海道土壌統名	霧里（Ks－Ⅲ）
北海道第２次案	火山灰表層褐色低地土（7131）
分布面積	80ha
全国土壌統名	外城統（12C07）
土壌群、統群	礫質褐色低地土
簡略分級式	Ⅲ tdgi Ⅱ (w)fa

〈特徴〉
音別川・その支流に分布する中粗粒の褐色低地土（現沖積面より比高が６ｍ位高い）
浅い下層から砂レキ層が現れる
有効土層はうすい

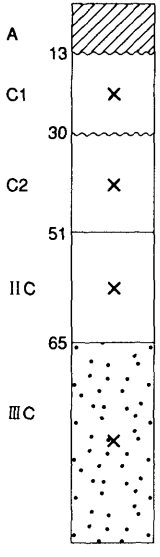
示性分級式（畑）霧里区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ	有効土層の深さ	表土の礫含量	耕土の耘土性	表土の粘着性	表土の風乾土の硬度	土地の乾湿	透水性	保水性	湿潤度	自然肥沃度	保肥力	固定力	養分の豊否	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃苦土含量	〃加里含量	〃有効態燐酸	〃	〃	微量要素	酸度	障害	有害物質の有無	災害	物理的障害性	増水の危険度	冠水の危険度	地すべりの危険度	傾斜	自然傾斜	傾斜の方向	人為傾斜	侵蝕	侵蝕度	耐水侵蝕性	耐風侵蝕性
	t	d	g	p				w				f				n								i		a					s				e			
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	2	2	1	(Ⅱ)	1	2	(2)	Ⅱ	2	2	1	Ⅰ	1	1	1	1	—	2	Ⅲ	—	3	Ⅱ	2	2	Ⅰ	1	—	—	Ⅰ	1	2	1

簡略分級式　Ⅲ tdgi Ⅱ (w)fa

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～13	A	5.0	6.24	0.34	3.63	11	34.5	CL	17.7	33.4	32.7	16.2		2.6					5.6	5.1	0.4	1,540	38.55	32.38	84	24.21	2.46	5.40	0.27	11.7	
2	13～34	C IIC	2.2	3.64	0.23	2.12	9	32.6	GL	7.5	41.5	38.3	12.7		2.6					6.6	6.0	0.1	1,132	26.74	26.08	98	22.10	0.70	3.08	0.19	9.3	
3																																
4																																
5																																

本流湿地（Hs）
（150）



黒褐（10YR3/2）hL、大粉塊、L、フ、多、少、一、一、良、一、多、一

にぶい黄褐（10YR5/4）L、単粒、L、フ、多、欠、一、一、良、湿、少、還元板、5Y6/1、灰色

にぶい黄橙（10YR6/2）SL、単粒、L、フ、多、欠、一、一、良、湿、少、鉄斑、7.5YR6/8

灰黄褐（10YR6/2）CL、単一、L、フ、多、少、一、一、不良、湿、一、鉄斑、橙色

褐灰（10YR6/1）S、単粒、L、フ、多、欠、一、一、不良、一、一、5YR5/8、明褐色

図幅名音別	
市町村名	音別町
北海道土壌統名	本流湿地（Hs－Ⅲ）
北海道第2次案	灰色低地土（7213）
分布面積	26ha
全国土壌統名	安来統（13E17）
土壌群、統群	中粗粒灰色低地土・灰褐系
簡略分級式	Ⅲ wn Ⅱ tf

〈特徴〉
低地土
音別川、馬主来川の下流に分布
土層膨軟で且つ下層は砂利
透水性良好、生地際で伏流水のため湿性
斑鉄多い。表層は強酸性（pH5.3）
塩基飽和度低い（34%）

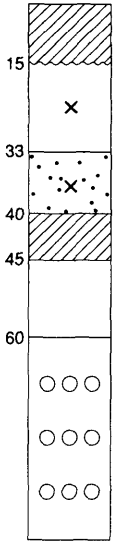
示性分級式（畑）本流湿地区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕土の難度 p	表土の粘着性 1	表土の風乾土の硬さ 1	土地の乾湿性 w	透水性 2	保水性 2	湿潤度 2	自然肥沃度 f	保肥力 2	固定力 2	養分の豊否 n	土層の塩基状態 1	置換性石灰含量 2	〃 苦土 2	〃 加里 3	有効態燐酸 2	微量要素 —	酸度 2	障害 i	有害物質の有無 1	災害 a	物理的障害性 2	地すべりの危険度 1	増冠水の危険度 1	傾斜 s	自然傾斜 1	傾斜の方向 —	人為傾斜 —	侵食 e	耐水侵食度 1	耐風蝕性 2	耐蝕性 1
Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1	1	(2)Ⅲ	2	2	2	Ⅱ	2	2	1	Ⅲ	2	2	3	2	—	2	Ⅰ	—	1	Ⅱ	2	1	Ⅰ	1	—	—	Ⅰ	1	2	1

簡略分級式　Ⅲ wn Ⅱ tf

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～13	A	0.3	7.28	0.43	4.23	10	27.0	L	6.5	46.2	39.4	7.9		2.4	30.7	60.0	9.3		5.3	4.6	1.9	1,235	15.84	5.43	34	4.21	0.84	0.15	0.23	3.7	134
2	13～51	C1 C2	3.5	1.62	0.13	0.94	7	26.9	SL	2.2	59.3	27.0	11.5		2.7	39.9	54.6	5.5		5.6	4.3	5.0	1,171	20.84	11.70	56	9.26	1.68	0.26	0.50	2.6	162
3	51～	IIC IIIC	2.6	0.81	0.077	0.47	6	12.9	CL	17.6	65.3	11.6	5.5		2.7	39.0	46.0	5.0		5.9	4.3	3.5	999	15.63	10.31	66	8.16	1.58	0.18	0.39	3.1	152
4																																	
5																																	

尺別（S）
（124）



黄灰（2.5Y5/1）hCL、単一、L、フ、多、中強、一、一、やや不良、一、多、一

灰黄（2.5Y6/2）C、単一、L、一、多、中強、一、一、不良、湿、少、鉄斑、5YR5/6、少

灰白（2.5Y8/2）S、単粒、L、一、多、欠、一、一、不良、一、少、明褐色

黒（10YR2/1）hC、単一、L、一、多、中大、一、一、不良、湿、少、一

灰（5Y6/1）SL、単一、L、一、多、欠、一、一、不良、湿、一、一

一（一）G、単一、L、一、多、一、一、一、不良、一、一、一

図幅名音別	
市町村名	音別町
北海道土壌統名	尺別（S－Ⅲ）
北海道第2次案	灰色低地土（細粒質）（7214）
分布面積	130ha
全国土壌統名	久世田（13C10）
土壌群、統群	礫質灰色低地土
簡略分級式	Ⅲ w Ⅱ tdpna

〈特徴〉
新しい沖積
各河川流域に分布する。放放地の利用が多い
下層にレキ層のあらわれることも多い
粘性強く、構造未発達、透水性小極めて湿性
塩基飽和度比較的高い（51～66%）
強酸性（pH4.8～5.3）
有効態りん酸は少ない

示性分級式（畑）尺別区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕土の粘着性 p	表土の土性	表層の風乾土の硬さ	土地の乾湿 w	透水性	保水性	湿潤度	自然肥沃度 f	保肥力	固定力	養分の豊土層の塩基状態	否 n	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	有効態燐酸	微量要素	酸度	障害 i	有害物質の有無	災害 物理的障害性 a	増冠水の危険度	地すべりの危険度	傾斜 s	自然傾斜	傾斜の方向	人為傾斜	侵蝕 e	侵蝕度	耐水性	耐風蝕性
Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	2	2	Ⅲ	2	1	2	Ⅰ	1	2	2	Ⅱ	1	1	1	2	—	2	Ⅰ	—	1	Ⅱ	2	1	Ⅰ	1	—	—	Ⅰ	1	2	1

簡略分級式　Ⅲ w Ⅱ tdpna

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～33		4.7	5.05	0.33	2.94	9	48.4	CLC	0.4	29.6	50.0	20.0		2.7	28.0	63.3	8.7		5.2	4.4	1.8	1,250	27.51	18.08	66	13.89	2.95	0.65	0.59	2.0	138
2	33～40		4.6	4.26	0.30	2.48	8	55.1	S	0.5	26.5	50.1	22.9		2.6	30.9	61.0	8.1		4.8	4.0	9.3	1,340	27.51	13.93	51	10.52	2.10	0.61	0.70	3.1	142
3	40～60		2.6	1.40	0.096	0.81	8	23.8	CL	16.6	51.7	20.2	11.5		2.7	41.2	48.8	10.0		5.3	3.8	11.6	924	15.01	7.85	52	6.31	0.84	0.27	0.43	2.6	162
4																																	
5																																	

音別（On）
（41）

AP	18	黒褐（10YR3/2）h̄CL、粉塊、L、フ、多、中、中、中、良、一、多、一
A3	30	灰黄褐（10YR4/2）CL、粉塊、L、一、多、中、中、中、良、一、中、一
IIA	32	黒（10YR2/1）h̄C、粉塊、L、一、多、中、中、中、良、一、中、一
IIB	47	灰黄褐（10YR5/2）C、単一、L、一、中、中大、中、中、やや不良、湿、少、一
IIIA	80	黒（10YR2/1）h̄C、単一、L、一、少、中大、中、中、やや不良、湿、一、一
IIICg	90	灰（5Y6/1）C、単一、L、一、少、中大、中、中、不良、湿、一、一
IVA	～～～	黒褐（10YR3/2）ヨシ、単一、L、一、分解、良好、一、一、一、潤、一、一

図幅名音別	
市町村名	音別町中央高橋節夫(牧草)
北海道土壌統名	音別（On－Ⅲ）
北海道第２次案	暗色表層灰色低地土（7223）
分布面積	749ha
全国土壌統名	野市統（13G24）
土壌群、統群	灰色低地土下層黒ボク
簡略分級式	Ⅲ wn Ⅱ tpfa

〈特徴〉
新しい沖積　草地、放放地
おおむね埋没腐植層をもつ。一部泥炭
下層は構造未発達でカベ状、透水性極めて小
強湿性の土壌
CEC大、塩キ大、酸性強い
P吸1700-2000

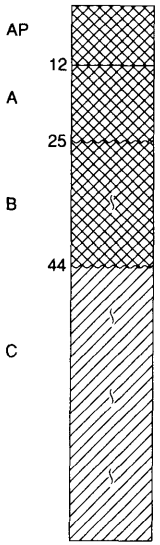
示性分級式（畑）音別区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕耘の難易度 p	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿性 w	透水性	保水性	自然湿潤度 f	保肥力	固定力	養分の豊土層の塩基状態 n	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	有効態燐酸	微量要素	酸度	障害 i	有害物質の有無	災害 物理的障害性 a	増冠水の危険度	傾斜 地すべりの危険度 s	自然傾斜	傾斜の方向	侵蝕 人為傾斜 e	侵蝕度	耐水蝕性	耐風蝕性
Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	3	2	2	Ⅲ	2	1	2	Ⅱ	1	3	2	Ⅲ	1	3	2	2	—	2	Ⅰ	—	1	Ⅱ	2	1	Ⅰ	1	—	—	Ⅰ	1	2	1

簡略分級式　Ⅲ wn Ⅱ tpfa

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～30	AP A3	5.0	15.69	0.72	9.12	13	45.3	CL	5.9	28.6	36.8	28.7	LiC	2.3	35.2	58.1	6.7		5.9	5.6	0.5	1,658	32.10	25.03	78	24.11	0.42	0.28	0.22	9.6	139
2	30～47	IIA IIB	6.0	13.86	0.60	8.06	13	75.9	C	0.4	7.3	47.8	44.5		2.5	31.3	55.0	13.7		5.1	4.3	6.8	1,857	51.28	23.34	46	19.79	2.95	0.19	0.41	5.2	134
3	47～80	IIIA	6.0	14.53	0.52	8.45	16	6.59	C	0.2	12.7	48.8	38.3		2.0	19.5	66.0	14.5		5.0	4.2	7.3	1,682	45.44	25.66	56	17.26	7.58	0.32	0.50	2.6	106
4	80～100	IIIcg IVA	6.0	13.57	0.50	7.89	16	7.59	C	0.7	3.2	54.7	41.4		2.7	23.9	65.3	10.8		4.9	3.9	15.0	1,610	41.27	23.90	58	13.89	9.26	0.15	0.60	4.3	130
5																																

四区（y）
（39）



黒褐（10YR3/1）$\bar{h}$L、薄片粉状、L、フ、多、中、中、中、良、一、（Me-a）多、なし } Me-a

黒褐（10YR2/2）$\bar{h}$CL、粗豆状、L、フ、多、中、中、中、良、湿、中、なし

黒（10YR2/1）$\bar{h}$CL、粉塊、L、管（0.5～0.8cm）、多、強、中、中、やや不良、湿、少、なし

黄褐（10YR5/6）$\mathring{h}$CL、単一、C、管（0.7～1cm）、多、強、中、中、やや不良、湿、一、なし

図幅名音別

市町村名　音別町

北海道土壌統名　四区（y－Ⅲ）

北海道第２次案　火山灰表層灰色低地土(中粗粒)　（7233）

分布面積　25ha

全国土壌統名　安来統（13E17）

土壌群、統群　中粗粒灰色低地土灰褐系

簡略分級式　Ⅲ wn Ⅱ fi

〈特徴〉
頁岩、火山灰風化物を主母材とする腐植の厚い埴壌土型の土壌
表層部・構造発達　粗孔ゲキ多　透水性良
下層は透水性不良のカベ状構造（上部からの水）

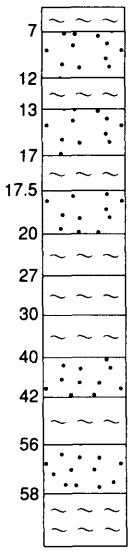
示性分級式（畑）四区区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	表土の礫含量 g	耕土の難易度 p	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土地の乾湿 w	透水性	保水性	自然湿潤度	肥沃度 f	保肥力	固定力	養分の豊否 n	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃 苦土	〃 加里	有効態燐酸	〃	微量要素	酸度	障害	有害物質の有無 i	物理的障害性	災害	増冠水の危険度 a	地すべりの危険度	傾斜	自然傾斜 s	傾斜の方向	人偽傾斜	侵蝕 e	耐水侵蝕性	耐風蝕性
Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	2	2	1	Ⅲ	2	1	2	Ⅱ	1	3	3	Ⅲ	2	1	3	3	—	2	Ⅱ	2	1	Ⅰ	2	1	Ⅰ	1	—	—	Ⅰ	1	2	1

簡略分級式　Ⅲ wn Ⅱ fi

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～12	AP	5.0	14.03	0.60	8.16	14	31.8	L	5.9	41.0	37.0	16.1	CL	2.3	33.5	63.3	3.2		5.4	4.5	2.0	1,713	27.93	7.90	28	6.31	1.26	0.13	0.20	1.7	141
2	12～25	A	9.2	18.41	0.64	10.70	17	45.7	CL	6.1	26.5	57.5	9.9		2.3	29.6	54.8	15.6		5.8	4.6	2.0	2,355	54.61	6.19	11	5.05	0.84	0.06	0.24	1.1	124
3	25～44	B	1.1	16.84	0.60	9.79	16	39.8	CL	5.3	38.0	42.3	14.4		2.6	18.1	61.9	20.0		5.5	4.6	2.3	2,460	40.63	3.80	9	3.16	0.35	0.07	0.22	0.6	109
4	44～100	C	7.9	5.10	0.25	2.97	12	41.0	CL	7.9	36.3	38.9	16.9		2.9	22.9	65.3	11.2		5.6	4.9	0.8	2,102	19.59	2.98	15	2.10	0.42	0.19	0.27	1.7	131
5																																

直別（T）
（10）



黒褐（7.5YR2/2）ヨシ、ー、分解、良好、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
にぶい橙（7.5YR4/7）S、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
黒褐（7.5YR2/2）ヨシ、ー、分解、良好、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、
灰白（7.5YR8/2）S、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
黒褐（7.5YR2/2）ヨシ、ー、分解、良好、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
灰褐（7.5YR6/2）S、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
黒（7.5YR2/1）ヨシ、ー、分解、良好、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
褐灰（10YR4/1）CL、ヨシ、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
黒（7.5YR2/1）ヨシ、ー、分解、良好、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
にぶい赤褐（5YR5/3）S、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー } Me-b
黒褐（7.5YR2/2）ヨシ、ー、分解、良好、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー
にぶい褐（7.5YR5/4）S、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー } 矢臼別
黒（7.5YR2/1）ヨシ、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー、ー

図幅名音別

市町村名　音別町

北海道土壌統名　直別（T－Ⅳ）

北海道第２次案　無機質表層低位泥炭土（8120）

分布面積　300ha

全国土壌統名　長富統（16A01）

土壌群、統群　泥炭土（低位）

簡略分級式　Ⅳw Ⅲtna Ⅱf

〈特徴〉
ヨシ泥炭

示性分級式（畑）直別区

土壌生産力可能性等級	表土の厚さ t	有効土層の深さ d	耕土の礫含量 g	耕土の難易度 p	表土の土性	表土の粘着性	表土の風乾土の硬さ	土の乾湿 w	土の透水性	土の保水性	自然湿潤度	自然肥沃度 f	自然保肥力	自然固定力	養分の豊否 n	土層の塩基状態	置換性石灰含量	〃苦土	〃加里	〃有効態燐酸	〃微量要素	障害酸度	障害有害物質の有無 i	災害物理的障害性 a	災害増冠水の危険度	傾斜地すべりの危険度 s	傾斜自然傾斜	傾斜の方向	侵蝕人偽傾斜 e	侵蝕水侵蝕度	耐風蝕性	耐水蝕性
Ⅳ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1	1	(2)	Ⅳ	1	2	3	Ⅱ	2	2	3	Ⅲ	3	1	2	2	—	3	Ⅰ	—	1	Ⅲ	3	1	Ⅰ	1	—	Ⅰ	1	2	2

簡略分級式　Ⅳw Ⅲtna Ⅱf

層位	採取部位 cm	層位名	水分 %	腐植 %	全窒素 %	全炭素	C／N 比	農学会法 粘土 %	農学会法 土性	国際法粒径組成 粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %	土性	真比重	三相分布 固相 %	液相 %	気相 %	孔隙率 %	pH H_2O	pH Kcl	Y_1	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	塩基飽和度 %	置換性塩基 me／100g Ca	Mg	K	Na	有効態りん酸 mg	容積重 g
1	0～20		2.5	8.05	0.40	4.68	12	27.0	ヨシS	9.2	44.9	35.3	10.5		2.1	27.2	66.5	6.3		4.8	4.4	4.6	1,271	15.84	3.82	24	1.68	1.68	0.24	0.22	2.3	125
2	20～40		3.9	23.91	0.95	13.90	15	18.5	ヨシCL	50.8	23.0	12.7	13.5		2.2	26.5	63.9	9.6		4.6	4.0	14.5	2,140	33.34	5.70	17	3.16	2.10	0.07	0.37	2.0	122
3	40～58		8.0	30.65	1.39	17.82	13	35.1	Sヨシ	3.9	30.0	32.7	33.4		1.7	14.8	79.1	6.1		4.8	4.2	20.0	2,618	56.28	5.47	10	3.16	2.10	0.03	0.18	1.7	105
4	58～		6.7	25.43	1.01	14.78	15	36.1	ヨシ	5.2	38.3	22.2	34.3		1.9	14.6	77.8	7.5		4.9	4.2	19.2	2,676	48.63	7.00	14	4.21	2.10	0.11	0.58	2.3	105
5																																

(付表１)

生産力可能性分級基準

等級	基準
第Ⅰ等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的に殆どあるいは全く制限因子あるいは阻害因子がなく、また土壌悪化の危険性もない良好な耕地とみなされる土地
第Ⅱ等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみて若干の制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性が多少存在する土地
第Ⅲ等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみてかなり大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性のかなり大きい土地
第Ⅳ等級	正当な収量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみてきわめて大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまた土壌悪化の危険性がきわめて大きく耕地として利用するには、きわめて困難と認められる土地

基準項目	表示記号	等級 Ⅰ 水田 水稲	Ⅰ 畑 畑作物	Ⅰ 畑 普通作物	Ⅰ 畑 桑	Ⅰ 畑 茶	Ⅰ 畑 果樹	Ⅱ 水田 水稲	Ⅱ 畑 畑作物	Ⅱ 畑 普通作物	Ⅱ 畑 桑	Ⅱ 畑 茶	Ⅱ 畑 果樹	Ⅲ 水田 水稲	Ⅲ 畑 畑作物	Ⅲ 畑 普通作物	Ⅲ 畑 桑	Ⅲ 畑 茶	Ⅲ 畑 果樹	Ⅳ 水田 水稲	Ⅳ 畑 畑作物	Ⅳ 畑 普通作物	Ⅳ 畑 桑	Ⅳ 畑 茶	Ⅳ 畑 果樹	備考
表(作)土の厚さ	t	25～15cm	25cm以上					15cm以下	25～15cm						15cm以下						15cm以下					有効土層の深さがⅣの場合はⅣとする
有効土層の深さ	d	100～50cm	100cm以上					50～25cm	100～50cm					20～15cm	50～15cm		50～25cm			15cm以下			25cm以下			50～25cm
表(作)土の礫含量	g	20%以下	5%以下		10%以下		20%以下	10～50%	5～20%		10～20%		10～50%	20～50%	10～50%		20%以上			50%以上	20%以上		50%以上			2）含量は礫の土層断面中の面積割合を示す 3）水田の10～50%普通作物の5～50%、桑、茶の20%以上、果樹の10%以上については礫の大きさ、風化の程度、含量の多少を考慮して等級を決定する
耕耘の難易	p	耕起、砕土が容易である						耕起、砕土がやや困難である						耕起、砕土が困難である												表(作)土の土性、粘着性および風乾土の硬さから判定する
湛水透水性	l	小～中						大						極大												作土下50cmの土性、ち密度から判定する
酸化還元性	r	還元化が弱く水稲の根系障害が殆どない						還元化が進み水稲の根系障害のおそれがかなりある						還元化が極めて強く水稲の根系障害が甚だしいかそのおそれがきわめて大きい												作土の易分解性有機物含量、遊離酸化鉄含量およびグライ化度から判定する
土地の乾湿	w (W)		過湿または過乾のおそれがないか、又は少ない						過湿のおそれがある 過干のおそれがある						過湿のおそれが多い 過干のおそれが多い						過湿のおそれが甚しい 過干のおそれが甚しい					透水性、保水性、湿潤度（土壌の年間にわたる支配的水分状態）から判定する
自然肥沃度	f	高						中						低												保肥力、固定力および土層の塩基状態から判定する
養分の豊否	n	多						中						少												置換性石灰、苦土、加里含量、有効態燐酸、窒素、珪酸含量、微量要素含量および酸度から、当該地区において特に問題となると考えられる要因に重点をおいて判定する
障害性	i	有害物質および物理的障害なし						障害程度の小さい有害物質あり、または除去やや困難な物理的障害						障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害						障害程度の大きい有害物質あり						1）有害物質とは硫黄化合物、重金属、塩類または灌漑水による害をいう 2）物理的障害とは地表下50cm以内に存在する基岩盤層、硬いち密層あるいは未風化巨礫などによる甚だしい物理的障害をいう
災害性	a	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が殆どない						増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある						増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい												増冠水および地すべりの危険度から判定する
傾斜	s			3°以下	8°以下		15°以下			3～8°	8～15°		8～25°			8～15°	15～25°					15°以上	25°以上			1）分級は自然傾斜を主とし、傾斜の方向、人為傾斜を、考慮に入れて総合的に行う 2）果樹の8～25°については、樹種、傾斜の方向、微気象的条件を考慮して等級を決定する
侵蝕	c			侵蝕のおそれがないかまたはきわめて少ない						侵蝕のおそれがある						侵蝕のおそれが多い						侵蝕のおそれが甚だしい				分級は侵蝕度を主とし、耐水蝕性、耐風蝕性を考慮して行う

基準項目	要因項目	要因強度 1		2		3		4		備考
湛水透水性	作土下50cmの土性	SC.LiC.SiC.HC	微	SCL.CL.SiCL	細	SL.FSL.L.SiL.S.LS	中粗			
	作土下50cmの最高ち密度	硬度計の読み25以上	密	硬度計の読み24～11	中	硬度計の読み10以下	疎			
酸化還元性	作土の易分解性有機物含量	風乾生成量及び高温生成量が10以下	少	風乾生成量が10～20及び高温生成量が10～15	中	風乾生成量が20以上及び高温生成量が15以上	多			乾土100gあたりのNH4.N生成量(mg)
	作土の遊離酸化鉄含量	1.5以上	多	1.5～0.8	中	0.8以下	少			乾土%
	グライ化度	50cm以内にグライ層のないもの	弱	50cm以内より下部にグライ層のあるもの	中	全層グライ、作土直下からグライ層のあるもの	強			1）作土グライ、または作土直下のみグライは要因強度を1とする。 2）泥炭、黒泥層はグライ層に準じて取扱う 3）要因強度が1でも作付中の地下水位が高く排水不良の場合は強度を2に下げる
自然肥沃度	保肥力	CEC20以上	大	CEC20～6	中	CEC 6以下	小			作(表)土の塩基置換容量(me)から判定する
	固定力	燐酸吸収係数700以下	ごく少	燐酸吸収係数700～1500	少	燐酸吸収係数1500～2000	中	燐酸吸収係数2000以上	大	
	土層の塩基状態	pH(H2O)5.5以上で置換性石灰飽和度50%以上	良	pH(H2O)5.0～5.5で置換性石灰飽和度50～30%	中	pH(H2O)5.0以下で置換性石灰飽和度30%以下	不良			
養分の豊否	置換性石灰含量	200mg以上（乾土100g当り）または置換性石灰飽和度50%以上	多	200-100mg以上（乾土100g当り）または置換性石灰飽和度50～30%	中	100mg以下（乾土100g当り）または置換性石灰飽和度30%以下	少			
	置換性苦土含量	25mg以上	多	25～10mg	中	10mg以下	少			乾土100g当たり
	置換性加里含量	15mg以下	多	15～8mg	中	8mg以下	少			乾土100g当たり
	有効態燐酸含量	10mg以上	多	10～2mg	中	2mg以下	少			乾土100g当たり
	有効態窒素含量	風乾生成量20mg以上	多	風乾生成量20～10mg	中	風乾生成量10mg以下	少			乾土100g当たり
	有効態珪酸含量	15mg以上	多	15～5mg	中	2mg以下	少			乾土100g当たり
	微量要素含量	欠乏症状が全く、あるいは殆どない		欠乏症状がかなり発生する		欠乏症状が甚だしく発生する				
	酸度	pH(H_2O)6以上または$Y_1$3以下	弱	pH(H_2O)6～5または$Y_1$3～6	中	pH(H_2O)5～4.5または$Y_1$6～15	強	pH(H_2O)4.5以下または$Y_1$15以上	ごく強	pH(H2O)とY_1の測定結果が一致しないときは要因強度が強くでる方をとる

（付表２）土壌分類の一覧

農耕地土壌分類・第２次案（昭和58年、農技研土壌第３科）

農水省、学会等で使われている事実上の全国共通の分類法で、造成土を除くと16土壌群56土壌統群320土壌統よりなる。

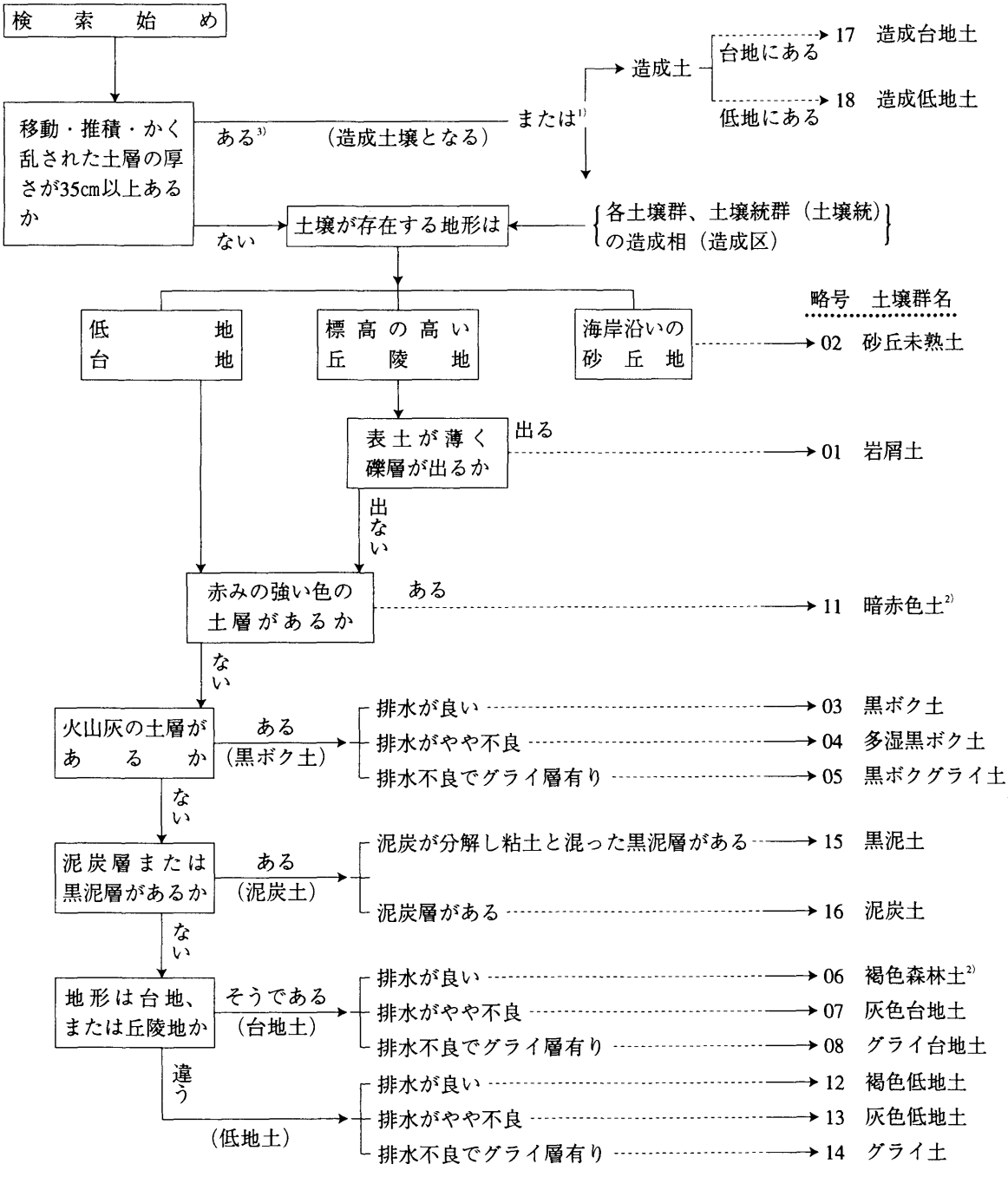
土壌群、土壌統群一覧

01	岩　屑　土	L
02	砂丘未熟土	RS
03	黒ボク土	A
A	厚層多腐植質黒ボク土	A-tr
B	厚層腐植質黒ボク土	A-th
C	表層多腐植質黒ボク土	A-r
D	表層腐植質黒ボク土	A-h
E	淡色黒ボク土	A-l
04	多湿黒ボク土	AW
A	厚層多腐植質多湿黒ボク土	AW-tr
B	厚層腐植質多湿黒ボク土	AW-th
C	表層多腐植質多湿黒ボク土	AW-r
D	表層腐植質多湿黒ボク土	AW-h
E	淡色多湿黒ボク土	AW-l
05	黒ボクグライ土	AG
A	多腐植質黒ボクグライ土	AG-r
B	腐植質黒ボクグライ土	AG-h
C	淡色黒ボクグライ土	AG-l
06	褐色森林土	B
A	細粒褐色森林土	B-f
B	中粗粒褐色森林土	B-mc
C	礫質褐色森林土	B-g
07	灰色台地土	GrU
A	細粒灰色台地土	GrU-f
B	中粗粒灰色台地土	GrU-mc
C	礫質灰色台地土	GrU-g
D	灰色台地土、石灰質	GrU-ca
08	グライ台地土	GU
A	細粒グライ台地土	GU-f
B	中粗粒グライ台地土	GU-mc
C	礫質グライ台地土	GU-g
09	赤　色　土	R
A	細粒赤色土	R-f
B	中粗粒赤色土	R-mc
C	礫質赤色土	R-g
10	黄　色　土	Y
A	細粒黄色土	Y-f
B	中粗粒黄色土	Y-mc
C	礫質黄色土	Y-g
D	細粒黄色土、斑紋あり	Y-wf
E	中粗粒黄色土、斑紋あり	Y-wmc
F	礫質黄色土、斑紋あり	Y-wg
11	暗赤色土	DR
A	細粒暗赤色土	DR-f
B	礫質暗赤色土	DR-g
12	褐色低地土	BL
A	細粒褐色低地土、斑紋なし	BL-f
B	中粗粒褐色低地土、斑紋なし	BL-mc
C	礫質褐色低地土、斑紋なし	BL-g
D	細粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wf
E	中粗粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wmc
F	礫質褐色低地土、斑紋あり	BL-wg
13	灰色低地土	GrL
A	細粒灰色低地土、灰色系	GrL-f
B	中粗粒灰色低地土、灰色系	GrL-mc
C	礫質灰色低地土、灰色系	GrL-g
D	細粒灰色低地土、灰褐系	GrL-bf
E	中粗粒灰色低地土、灰褐系	GrL-bmc
F	礫質灰色低地土、灰褐系	GrL-bg
G	灰色低地土、下層黒ボク	GrL-a
H	灰色低地土、下層有機質	GrL-o
I	灰色低地土、斑紋なし	GrL-d
14	グライ土	G
A	細粒強グライ土	G-sf
B	中粗粒強グライ土	G-smc
C	礫質強グライ土	G-sg
D	細粒グライ土	G-f
E	中粗粒グライ土	G-mc
F	グライ土、下層黒ボク	G-a
G	グライ土、下層有機質	G-o
15	黒　泥　土	M
16	泥　炭　土	P
17	造成台地土	MU
18	造成低地土	ML

（09、10は北海道には存在しないとされている）

〈土壌の種類を探しあてるための検索表〉

厳密な意味での検索表ではないが、土壌分類、つまり土壌の種類のわけ方の流れを説明するために大まかなものを以下に示した。



注1)二通りに区分けするための定義は省略した。
2）09黄色土、10赤色土は北海道に存在していないため省略した。
3）既存の分類にほぼあてはまれば必ずしも造成土壌とする必要はない。

(付表3)

〈断面柱状図の記号の説明〉

以下のうち、腐植は重量割合、その他は断面中の面積割合による。

腐植（ふしょく）

含　む（2～5%）

富　む（5～10%）

すこぶる富む（10%以上）

はん紋…雲状、膜状、糸根状、状状

含　む（2～20%）

富　む（20～50%）

すこぶる富む（50%以上）

礫（レキ）

含　む（5～10%）

富　む（10～20%）

礫　層（20%以上）

砂　礫　層

○　円レキ（丸いレキ）

□　半角レキ（やや丸いレキ）

△　角レキ（とがったレキ）

⊡　火山軽石（パーミス）

はん紋…管状、脈状

有　り（2%未満）

含　む（2～20%）

富　む
すこぶる富む（20%以上）

結核状、点状

グライ層

グライ班

泥炭（でいたん）

含　む（1／3未満）

富　む（1／3以上～2／3未満）

泥　炭　層
{面積割合で2／3以上を占め腐植含量20%以上}

黒　泥　層

土層の境界

明　瞭（3cm未満）

直線状（平坦）

やや明瞭（3～5cm）

波　状

不規則

漸変（次第に変化）（5cm以上）

85

湧水位置（cm）

盤　層

（付表4）

土地改良、土層改良を必要とするか、あるいは考慮の対象となり得る土壌

（水田）

目　的	対　　策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壌
排水改良	暗渠排水 心土破砕	地下水位が高く、排水不良なもの （04、05、07、08、13、14、15、16）
		地下水位は低いが、表土が粘質で表面排水が不良になり易いもの （06A、11A、12A·D）
地耐力増強 耕土補給	鉱質土客土	泥灰や黒泥が表層にあるもの （15、16）
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの （02、及び03·04·05のうち粗粒火山灰のもの）
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの （06A、07A、08A、11A、12A·D、13A・D、14A·D）
除礫 耕土補給	除礫 客土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの （06C、07C、08C、11B、12C·F、13C·F、14C）

（畑地・草地・樹園地）

目　的	対　　策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壌
排水改良	暗渠排水 心土破砕	排水不良なもの、表面排水が不良になり易いもの （04、05、06A、07、08、11A、12A・D、13、14、15、16）
地耐力増強 耕土補給	鉱質土客土	泥灰や黒泥が表層にあるもの （15、16）
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの （02、及び03・04・05のうち粗粒火山灰のもの）
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの （06A、07A、08A、11A、12A・D、13A・D、14A・D）
除礫 耕土補給	除礫 客土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの （06C、07C、08C、11B、12C・F、13C・F、14C）
土層改良	混層耕 （反転客土耕） （改良反転客土耕）	理化学性が不良な火山灰層と良好な埋没火山灰層（又は沖積層、洪積層）とを混合あるいは交換して活用する耕起法。 （03・04・05のうち土層の状態が目的にかなっているもの）
	心土肥培耕	心土の科学性が不良で、改良資材の投入が可能なもの （03・04・05の大部分）
	心土破砕 硬盤破砕	表土の下の土層が硬い（堅密）か、あるいは硬くなり易いもの （02・03の一部と15・16の一部を除く大部分の土壌）